

～伊予美人で収量日本一（10a 当たり）を目指す！～  
高石 光範さん(四国中央市(旧土居町))

青年農業者協議会 野菜部会長 1974年生まれ



☆経営概況☆

両親とともに水稲7～8ha、サトイモ2.5ha（地域の平均 18a）を栽培しています。  
（パート 3～5人）  
今後は、ブロッコリー、キャベツ等秋冬の葉物野菜を経営品目に加える予定です。

☆ここがポイント☆

■父の背中を見て

農業に取り組む父の背中を見て、いつかは後継者になりたい。跡を継ぎたい！と思い、平成16年に退職して就農。今では、農業にやりがいを感じています。

■オリジナル営農方法で、サトイモ栽培に革命！

父が開発・改良した全期マルチ栽培法（全生育期間を通じて畝をマルチで被覆する栽培方法）や日本初のサトイモ分離収穫調整作業機を地域で率先して導入することで、作業の大幅な省力化をしています。農業は、工夫の仕方でもっと規模を拡大できる仕事でもあるんだと感じています。

■規模拡大に伴う施設の整備

規模拡大に伴い、既存の倉庫では手狭になった。サトイモ調整を手作業や根切り機だけでは追いつかないため、新たに倉庫の新築と出荷調整一貫作業機を導入するなど、作業の効率化や労働時間の短縮に努めています。

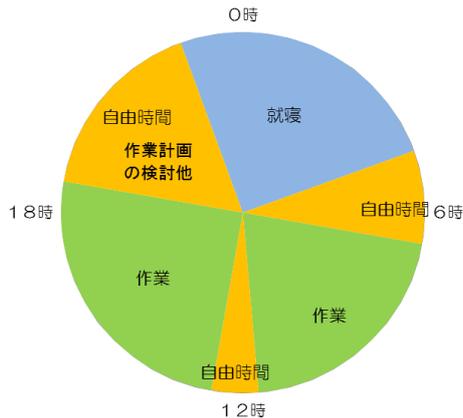


出荷調整一貫作業機への搬入



出荷調整一貫作業機を使った作業

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

「伊予美人」と「学校給食米」の栽培が中心で、年中暇なしですが、十分やりがいのある仕事です。

趣味は、「釣り」と「サッカー」（社会人チーム所属）で仕事のリフレッシュをしています。

また、四国中央市青年農業者連絡協議会野菜部会長として、新規就農者の技術指導など育成に努めています。また、地域の野菜振興に向け、さといも以外の品目も模索中です。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	仕事の調整を行い、できるだけ週1回は休むようしています					
← 管理・収穫・調整・出荷 →						
【普通期】	← 栽培管理作業等 →				休日	← 管理作業等 →



収穫作業機と私

☆これからの夢や目指すもの☆

■農業で地域貢献と経営規模の拡大を！

農業の魅力を地域の小学生たちに伝えるため、平成15年から学校給食用米（2ha）の栽培にも取り組んでおり、給食を通じた、地域貢献に引き続き取り組んでいきたいです。

また、地域の特産物である伊予美人（サトイモ）を全国にアピールして、多くの人に食べてもらうことで、地域全体をPRしていきたいです。

今後、作業機械の導入による農作業の効率化や有能な人材を確保・育成し、経営規模の拡大と高収量・高品質生産を目指します。

☆メッセージ☆

■農業のやりがいを伝えていきたい！

農業は天候など色々なものに影響される忙しい仕事ですが、十分にやりがいのある職業だと思います。農業の魅力を様々な人にどんどん広めていきたいです。